



綿貫市議が質問

補足質疑を行う綿貫市議、左は高島市長（3月8日）

貧困
対策

家賃補助、市営住宅の新築を

福岡市の予算議会で、日本共産党の綿貫英彦市議が補足質疑を行い、福岡市の住宅政策について取り上げました。

高い住居費で生活保護以下に…

住宅政策について綿貫市議は、月収が18万円の母子家庭で、子どもが中学生になり部屋が必要になったため家賃が月6万5000円のアパートに引っ越した

ケースを紹介。生活費部分が生活保護の最低生計費以下になってしまい、PTA会合後の懇親会を断ったり、服や食費を切り詰めている実態を明らかにしました。

ひとり暮らしできない非正規

また、綿貫市議は、正規の保育士から聞き取りを行い、家賃を払えば生活ができないために、ある園では単身者全員が実家暮らし

をしている事例を取り上げました。

綿貫市議は、高島市政の住宅政策には憲法25条がうたう生存権を保障する視点がないことを批判。「貧困対策や若者の自立支援として、家賃補助を」「市営住宅の新築を」と市に迫りました。

市長は、家賃補助について「国や他都市の動向を踏まえ総合的に検討する」と答えるにとどまり、市営住宅の新築は拒否しました。

住民の運動に光



東区貝塚にある「タラソ福岡」
(九州リースサービスのホームページより)

タラソ
福岡引継

臨海工場の余熱利用公共施設「タラソ福岡」(東区)の健康増進ゾーンについて、市は契約終了を理由に今年3月末をもって閉館する方針を打ち出しています。

利用者からは1500筆以上もの存続の請願が出され、3月議会(条例予算特別委員会第5分科会)で審議されました。

綿貫市議が昨年存続求め質問

存続を求める日本共産党の質問に対し、市は「複数の事業者

希望が見えてきました!

タラソ福岡は、近辺に類似施設がないほど素晴らしい施設です。存続を願って署名を短期間で1500名以上集めました。綿貫議員をはじめ、様々な会派の紹介議員の方々の的確な鋭い質問から、タラソ福岡の未来が見えてきました。他の施設に移る人達とも、これからもタラソ福岡復活に頑張ろうと話しています。笑顔で!

伊藤美智子さん
(タラソ福岡利用者)

2018年度の新施設開業めざし 業者ハム募の意向答弁

「タラソ福岡」の健康増進施設については、綿貫英彦市議が利用者の相談を受け、昨年9月に存続を求めて質問していましたが、他会派の議員からも存続を求める意見が出されています。

「タラソ福岡」の健康増進施設については、綿貫英彦市議が利用者の相談を受け、昨年9月に存続を求めて質問していましたが、他会派の議員からも存続を求める意見が出されています。

共産党の
質問に



わたぬき
綿貫英彦
市議会議員

日本共産党

東区民報 2017年春季号 議会報告

綿貫英彦市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をおよせください。(日本共産党東博多地区委員会 ☎631-0037)

発行：日本共産党福岡市議団
www.jcp-fukuoka.jp
電話 711-4734 FAX741-4627
ツイッターやっています
アカウント:watanukihide

無料 生活・法律
そうだん

東区オフィス舞松原 2-17-30
毎月第3水曜日 19~21時

和白・奈多
美和台 3-7-16 三苦メゾンハイツ 101
毎月第3木曜日 19~21時

弁護士と綿貫英彦市議が相談を受け付けます。サラ金・相続・離婚・生活保護・地域問題など何でもお気軽にどうぞ。

赤旗を読みませんか?
日刊/月3497円 日曜版/月823円
電話 631-0037へご連絡ください

“日本政府は国際交渉に参加し積極役割果たせ”

意見書を全会一致で採択

福岡市議会

日本政府に対し、核兵器禁止条約の実現にむけ、国際交渉に参加して、イニシアチブを発揮するよう求める意見書が、3月の福岡市議会で全会一致で採択されました。

共産党が立案

この意見書は日本共産党市議団が立案しました。

日本共産党の志位委員長はニューヨークにある国連本部へ3月22日に出発。

「核兵器全面廃絶につながる、核兵器を禁止する法的拘束力のある協定について交渉する国連会議」に参加し、唯一の戦争被爆国・日本の国民の悲願である核兵器廃絶の思いを国連に届けました。

国連会議のホワイ ト議長と握手する 志位委員長



学校ウォッチングをもとに、改善がすすみました

(福岡市教育委員会教育環境部の資料より抜粋)

Table with 3 columns: 学校名, 調査事項, 現状又は対応. Rows include 三苦小 (東区) and 和白丘中 (東区) with various facility issues and planned improvements.

学校施設の危険・老朽箇所 問題点チェック

綿貫市議と市民団体が協力

日本共産党市議団は、地元の市民団体などと協力して、学校の施設の老朽化、危険度、不十分さなどの実態を調査。改善要望を市教育委員会にとどけ、議会質問でもとりあげるなどしてきました。

委員会から要望に対する改善結果の報告が届きました(右表)。多くの老朽・危険箇所、不十分点を改善することができ、学校関係者からも喜びの声が上がっています。



特別教室やステップルームにもエアコンを

この調査では、理科室などの特別教室や不登校気味の子どもたちがすごすステップルームにエアコンがない実態が判明。昨年9月の議会質問でも設置を求めました。ひきつづき学校施設の改善にむけて、みなさんとともにがんばります。



和白丘中学校での調査。特別教室にはエアコンなし。